

★一人ひとりに寄り添い、「チーム上板」(全職員・保護者・地域)で全ての児童を育てます。

よく考える子ども(知)

- 問題解決的な学習の徹底(授業スタンダード S)
 - ・めあての明確化 ・学び合い
 - ・まとめと振り返り(言語活動・書く活動)
- 個の活動→グループでの交流→全体活動の徹底(協働学習)(自己調整型学習の導入)
- 基礎・基本の徹底
 - ・朝学習(火・木:学習タイム)
 - ・東京ベーシックドリル・すららドリルの活用
- 道徳の時間の充実「考え 議論する道徳」
 - ・道徳の教科書、道徳ノート活用の工夫
 - ・授業改革と評価の工夫
- 探究を深める学習の充実
 - ・生活科・総合的な学習の時間の活用
 - ・環境、キャリア、SDGs、福祉、防災等
- ICT機器を活用した授業の工夫
 - ・電子黒板・デジタル教科書の活用
 - ・クローズドブックの効果的な活用
- 言語表現活動の工夫
 - ・読み解く力(文章の意味を正しく読み取る力)の育成
 - ・伝え合ったり表現したりする場の設定
- 読書活動の充実
 - ・朝読書(金) ・年3回の読書週間
 - ・学級文庫の充実 ・読み聞かせボランティア
 - ・読書のあしあと ・中央図書館の活用
- 家庭学習習慣の定着
 - 家庭学習の手引き(学年×10分)※1年は20分



すすんで助け合う子ども(徳) ねばり強くやりぬく子ども(徳)

- 基本的な生活習慣の育成(自立から自律へ)
 - ・あいさつの重点指導 ・言葉遣いの指導
 - ・話を聴く、時間を守る、整理整頓をする等、基本的な生活習慣の確立(当たり前のことをきちんと行う)
 - ・学習規律、生活のさまりの徹底
- 道徳教育の充実(全教育活動)
 - ・いじめを見逃さない、早期発見、早期対応、いじめ防止の授業(学校いじめ未然防止等基本方針)
 - ・ふれあい月間(年3回)、人権尊重の教育
 - ・学級の心理的安全性の確保・信頼関係の育成
- たてわり班活動の充実
 - ・異学年での遊びの交流
 - ・思いやりの心の育成(他者理解)
- 特別活動や学校行事の充実
 - ・当事者意識をもち、主体的に取り組む。
 - ・友達と話し合い、協力してつくりあげる。
 - ・困難があっても、最後までやり遂げる。
- まてばしい教室の活用(STEP UP教室)
 - コミュニケーションの能力・ソーシャルスキルの向上(小集団・個別)
- 通常の学級と特別支援学級(五組)の交流
 - 年間指導計画に基づき実施
- 難聴言語学級(きこえとことばの教室)の学習
 - 理解啓発授業の実施
- 小中一貫教育における交流(学びのエリア)
 - ・中学校見学 ・部活動体験
 - ・あいさつ運動 ・清掃活動



じょうぶなからだの子ども(体)

- 体育の授業の充実
 - ・めあてをもち、楽しく取り組める体育学習
 - ・体力テストの実施・分析・活用
- 体育朝会・行事の工夫
 - ・基本的な行動様式
 - ・ラジオ体操
 - ・持久走
 - ・長縄を使った活動(長縄大会)
- 学級・学年の取組
 - ・外遊び、クラス遊びの奨励
 - ・縄跳びの奨励(短縄、長縄)
 - ・1学級1取組
- 心と体の健康づくり
 - ・給食だよりでの栄養指導
 - ・食育の推進
 - ・保健学習(3~6年)
 - ・保健室での指導(計測時等)
 - ・歯と口の健康教室(4年)
 - ・薬物乱用防止教育(6年)
 - ・保健だよりの活用
 - ・学校保健委員会の開催
 - ・SC、巡回心理士による面接・相談
- 地域イベントへの積極的参加
 - ・上板小フェスティバル(PTA)
 - ・東山子どもお楽しみ広場・クリスマス会
 - ・尾花沢宿泊体験(桜川青健)
 - ・ドッジボール大会(板橋区)
 - ・漢字・算数検定(地域センター)
 - ・ラグビー体験会



安心安全な学校

- 全職員で全児童を理解し、指導・支援体制の充実を図る。
- 避難訓練(地震、火災、不審者対応、緊急下校班活動、引き渡し訓練)
- 交通安全教室(1・2年) 自転車安全教室(3年)
- 救急救命講習(6年) 起震車体験(4年、五組)
- 災害時の学校管理体制(危機管理マニュアル、学校防災連絡会)



地域に開かれた学校

- 学校だより、学年だより、学校のホームページでの情報公開
- PTA、OYA-Gの会、学校支援地域本部、地域との協力活動
- 学習支援ボランティア・リトルティーチャー、付き添い、交流活動等
- せせらぎ学びのエリアの交流活動(教職員・児童)
- コミュニティスクール委員会(iCS)との協働 SDGsお囃子体験
- あいキッズとの連携 ○近隣幼稚園・保育園との交流活動

